

# 外国人親子が抱える教育問題

～男女共同参画に取り組んできたスウェーデンを参考に～

近年学校では 渡日の児童生徒が増加しています。外国人親子は、日本の学校という集団の中に入ることへの不安や言葉の壁、異なる文化との出会いなどの戸惑いがあります。

早くから外国人受け入れや男女共同参画に取り組んできたスウェーデンの事例を参考に聞きながら、外国人親子が日本の社会や学校でおかれている状況を振り返ってみましょう。実際に日本で子育てをしている外国人や大阪市内で渡日児童の支援を続けているパネリストのお話から、外国人家族が安心して日本で暮らし、日本の教育が受けられる社会をどう作るかを一緒に考えましょう。

**日時：2022年12月3日(土)午後2時～4時**

**場所：豊中市生活情報センターくらしかん 3F イベントホール**

**基調講演：「スウェーデンにみる外国人児童教育と共生のあり方」**

**古谷大輔さん**（大阪大学大学院人文学研究科教授 スウェーデン専攻）

**パネリスト：村上自子さん**（おおさかこども多文化センター）

**海野バティさん**（ネパール出身・通訳）

## <講師プロフィール>

**古谷 大輔**（ふるや だいすけ）大阪大学大学院人文学研究科教授。1971年茨城県生まれ。1995年東京大学文学部、2001年東京大学大学院人文社会系研究科を修了。2001年大阪外国語大学に講師として着任、2005年同助教授、2007年大阪大学世界言語研究センター准教授、2012年同大学院言語文化研究科准教授、2021年同教授、2022年より現職。この間、スウェーデン王国ルンド大学歴史学部客員研究員、同ウップサーラ大学神学部客員研究員など歴任。専門は歴史学（スウェーデン君主政を対象としたヨーロッパの国家形成論）。共著に『王のいる共和政』（2022年、岩波書店）、『論点・西洋史学』（2020年、ミネルヴァ書房）、『礫岩のようなヨーロッパ』（2016年、山川出版社）など



**定員：50人**（事前にお申し込みください）

**参加費：500円**（学生は無料）

**主催：NPO法人 国際交流の会とよなか（TIFA）**

**問合せ・申込み：TIFA事務局 TEL/FAX：06-6840-1014**

**Eメール：[tifa99@nifty.ne.jp](mailto:tifa99@nifty.ne.jp) HP：<http://tifa-toyonaka.org/>**



一時保育あり

1歳～小学3年生まで（ひとり税込550円）

※11/26(土)までに要申込(TIFA事務局まで)

<TIFA セミナーとは>

世界で起こっている問題について知り、学び、身近な問題として考えるための講演会や学習会です。



# 【一時保育申込用紙】

申込先 国際交流の会とよなか（TIFA）事務局 TEL/FAX:06-6840-1014

申込締切 / 2022年11月26日（土）

（申込日）2022年 月 日

＜TIFA セミナー＞ 外国人親子が抱える教育問題			
開催日時	2022年12月3日（土）午後2時～4時		
保護者の名前	ふりがな		
住所			
連絡方法	Tel :	Fax :	
	Eメール :		
子ども	名前	ふりがな	才 月
	女・男	アレルギー	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある[ ]
	トイレ	<input type="checkbox"/> 言える <input type="checkbox"/> 言える時もある <input type="checkbox"/> パンツにしているが言えない <input type="checkbox"/> オムツをしている	
	一時保育	<input type="checkbox"/> はじめて <input type="checkbox"/> 2～3回 <input type="checkbox"/> 慣れている	
保育者に伝えておきたいこと等があればご記入ください。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子ども一人につき550円(当日会場で支払い)</li> <li>• お茶、タオル、着替え等をお持ちください。</li> <li>• 持ち物にはすべて名前を書いてください。 • おやつを持ち込みはお断りしています。</li> </ul>			

- ◎ 提供された個人情報は、このセミナーにのみ使用し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出します。他の目的には一切使用しません。
- ◎ 豊中市内在住等を問わず、どなたでも申込みできます。
- ◎ 申込後にキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。